

第2回公開講座 | 9/30 (土)

14:00-16:00 (開場 | 13:30)

名古屋文理大学文化フォーラム (稲沢市民会館) 小ホール

最先端の『弁膜症治療』

べんまくしょう

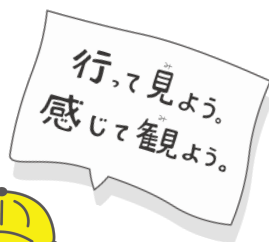


- ✓ 心臓の弁の開きが悪くなり、血流の通り道が狭くなる。
 - ✓ 弁の閉じ方が不完全なため血流が逆流する。
- べんまくしょう
これを弁膜症といいます。

講師

名古屋大学大学院医学研究科 心臓外科教授
重症心不全治療センター長・小児循環器センター長

六鹿 雅登 (むつが まさと) 教授



10.22 2023 SUN
10:00-15:00

市民病院まつり！今年も開催します！
詳細は近日中午に当院のホームページにてお知らせします！



稲沢市民病院 /

病院 News.

inazawa municipal hospital news

vol. 75
2023 August

『災害について考える。』

一公開講座から見てきたこと一



2023年7月29日に令和5年度第1回市民病院公開講座が開催されました。

今回は、名古屋大学名誉教授の福和伸夫先生をお招きして
『南海トラフ地震のこゝろ知ってる？ 備えてる？』をテーマに市民の皆さんと
一緒に災害について学びました。

『災害について考える。』 一公開講座から見てきたこと一

稲沢市民病院
公開講座

南海トラフ地震のこと
知ってる？備えてる？

参加者
323名

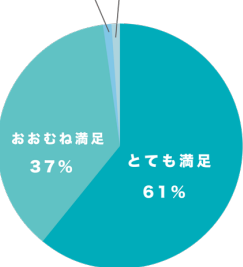


2023年7月29日に令和5年度第1回市民病院公開講座が名古屋文理大学文化フォーラム（稲沢市民会館）中ホールにて開催されました。323名の市民の方の参加をいただきありがとうございました。今回は、名古屋大学名誉教授でありち・なごや強靱化共創センター長でもある福和伸夫先生をお招きして『南海トラフ地震のこと知ってる？備えてる？』がテーマの講演でした。

講演後アンケート結果は、約6割の方が『とても満足』、約4割の方が『おおむね満足』との回答でした。

Q.本日、参加された感想

どちらでもない1% 不満がある1% とても不満0%



歴史上のできごとと災害を関連づけた内容がわかりやすかった。近い将来、地震が来るとして過ごさなければいけないと思った。

なかなか自分ごととして、とらえられなかったが、対策を早急にせねばならないと痛感した。

自分の命は自分で守る。地震対策を実施する。家具の固定。

AEDの説明が役に立った。福和先生の實のあるお話。非常にためになりました。自己責任の大切さを思いました。

過去に学び、自分ごととして予備をする。

食料の備蓄、家具の転倒防止をしなくてはならないと感じた。家具を減らそうと思いました。

病院以外で市民病院の皆さんと和やかに会話できるのは良い機会で満足しました。

※アンケートの一部抜粋を掲載しています。

Q.現在、ご自身の健康や医療について、ご興味のある内容をすべて教えてください。

1位 生活習慣の予防について (19%)

2位 認知症について (17%)

3位 災害時の医療体制 (13%)

4位 人生会議 | ACP (10%)

今回の内容をもとに公開講座や出前講座などのイベントを通じて市民の皆さまに情報発信していきます。アンケートのご協力ありがとうございました。

参加された市民の方にお話を伺いました！

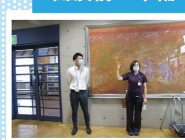
interview



Q.参加されたきっかけは？

A.もともと、防災には関心がありました。私自身、地域の女性で集まり細やかな所に気を配りながら女性目線で災害マップを作っていました。炊き出しなども色々考えていたのですが、コロナでしばらく活動が停止していましたが、近々、活動を再会します。今回、地域での防災を考えるにあたり、まだまだ知らないことがあるので勉強のため参加しました。防災マップですが、市役所などにも置かれていたりするのでぜひ、見かけたらご覧ください。

開演前の準備



スタッフも皆さんに会える日を楽しみにしながら準備をしていました！！

講演前のイベントも好評でした！

心肺蘇生法



災害時に倒れている人がいたらどうしますか？皆さん熱心に聞いていました。

人生会議（ACP）



あなたの人生で大切にしていること。もしもの時について専門の知識を持った看護師と一緒に考えていきました。

健康チェック



血管年齢測定や骨密度測定、健康相談コーナーは人気が高く、皆さんの健康への関心の高さがうかがえます。

他にもいろいろなイベントが開催されました。

知ってる？備えてる？

□ 自宅の家具などの転倒・落下防止していますか？

地震による負傷を最小限にするためにタンスや本棚、食器棚、冷蔵庫などに転倒防止金具などで固定しておきましょう。寝室にはなるべく家具を置かない、避難経路となる場所が家具により塞がれないか否か配置も考慮してください。

□ 非常備蓄品は、最低でも一人3日分の食料や水分は備えていますか？

災害によりライフラインの復旧に1週間以上経過する場合があります、最低でも3日から1週間分家族の人数分の食料や水分などの備えが必要です。水分は一人1日3L程度必要です。米や乾麺、レトルト食品、缶詰製品など日持ちする食料を備えておきましょう。

□ 非常持ち出し用品は、準備して定位置に置いてありますか？

災害時、パニックになる場合もあるためすぐに持ち出せる場所をそれぞれの家庭に応じて決めましょう。

□ 家族で話し合い、災害時の集合場所や安否確認方法は決めてありますか？

災害時の待ち合わせ場所、時間など防災マップを確認しておきましょう。安否確認は、スマートフォンや固定電話など複数準備しておきましょう。

過去におきた自然災害と歴史を紐づけてお話をされました。過去から学び、いま私たちにできる防災対策を実践することが大切であることを学びました。自宅の家具の補強は大丈夫ですか？いま、地震が起きたら水と食糧の備えがありますか？今からでも遅くはありません。一度、防災対策についてあなた自身の身の回りを見直してみましょう。